

日本テニスウエルネス協会
会員の皆様へ

JTWA事務局長

(はじめに)

当協会は1999年4月に発足、2003年で第五年度を迎えました。2001年にはNPO法人への新たな制度導入(10月1日発効 - 認定NPO法人制度)があり、協会はこれまでの活動実績が認められ、全国で第一号の認定団体となりました。更に、昨年(2003年)の10月22日付けで、平成17年12月31日までの更新ができました。このことは協会・会員一同として、大変に荣誉あることです。や管この年次報告では今後の協会活動や組織運営に関連する将来的な課題等を含め、第五年度(2003年1月～12月)の全体報告と新年度の事業計画について、以下ご報告します。

(目次)

- 1) 第五年度協会活動の全体報告
 - (1) 活動全般について
 - (2) 正会員、支援団体・個人(賛助会員、寄付金)
 - (3) 主な事業活動について
- 2) 第六年度(2004年)の事業計画について
 - (1) 会員数の拡大、ホームページ活用と広報
 - (2) 各支部事業と新たな事業の企画について
 - (3) 認定NPO法人としての組織運営の強化
 - (4) 第六年度(2004年)の事業予算書
- 3) 資料
 - (1) 第五年度(2003年) 事業活動表 別表-1
 - (2) 第六年度(2004年) 事業計画表 別表-2
 - (3) 決算報告及び予算
 - 第五年度(2003年) 決算報告書 別表-3
 - 第五年度(2003年) 貸借対照表 別表-4
 - 第六年度(2004年) 予算計画書 別表-5
 - (4) 会員名簿
 - (5) その他

通常総会の開催について

- ・日時：2004年2月22日(日)
- ・時間：午後2時半より
- ・場所：於東京 - 代々木

なお、総会開催の詳細に関して会員の皆様には別紙にてご案内をしますが、総会の事業報告は当報告書の配付を以ってこれに替えます。

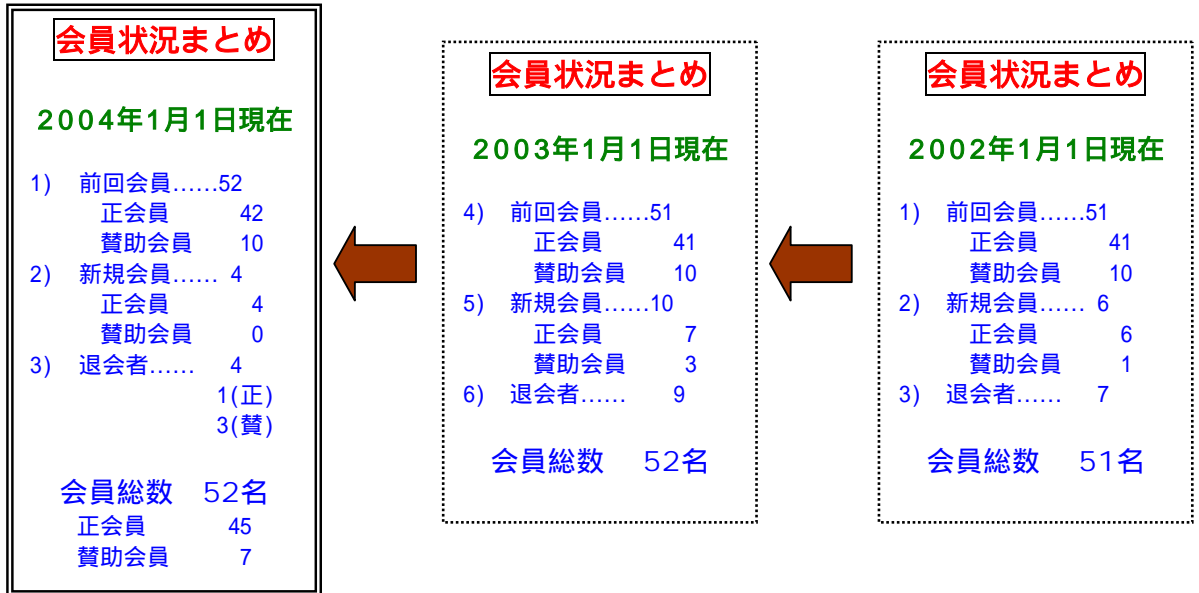
1) 第五年度 - 協会活動の総括報告

(1) 事業活動の全般について

第五年度、2003年には従来の各支部活動(障害者や子供、シニアを対象とするテニス)に加え、「ラケットリサイクル」をさらに強化・拡充しています。この活動は、一般のテニス愛好家の方々が中古ラケットの提供を通じて、或は無償でのガット張りというご支援を頂いたストリンガーの皆さん、さらにはガットの無償提供というご厚意を頂いた企業を含め、多くの皆さんがボランティアとして活動に参加、協力されました。他方、ラケット寄贈先となった全国の中学、高校からは感謝状が多く寄せられ、モンゴルへの寄贈とともに、四年目を迎えた事業としては確かな実績を残すことができました。これらの実績を踏まえ、来年度も一層活動を活発にしていけます。一方、テニスの「レイティング事業」は管理システムのパソコン用ソフトは完成したのですが、活用の段階に入れませんでした。協会組織の強化面では、全国的

展開をある程度実現した当時と同じ状況であり、会員数については正会員が増加したものの経済状況を反映して賛助会員が減少し残念ながら横ばい状態となりました。また、広報活動として外部発信・ホームページでは、内容に若干の改善が見られたものの不十分な結果に終わっており、次年度は一層の改善が必要です。そして、国際交流事業では具体的な成果は残せませんでした。なお、従来からの事業活動では概ね前年度と同じ活動に加え、関西支部におけるジュニアトーナメント（京都）が実施されました。主な共催大会として、関東車いすテニス協会、関東障害者テニス協会の二団体との共催による行事を実施しました。

(2) 正会員数の推移及び支援団体・個人(賛助会員、寄付金)について



支援団体(賛助会員、寄付金) 2003年度

(敬称略)

- ・ 賛助会員として支援頂いた団体、個人は次の通りです：
協和発酵工業、グラクソ・スミスクライン、全日本空輸、
明治損害保険、西日本旅客鉄道、あるふあ出版(以上、団体)
角谷秀和、高井善憲、(以上、個人)
- ・ 寄付金品により支援頂いた団体は次の通りです：
ヨネックススポーツ振興財団、大塚製薬、資生堂、ゴーセン

(3) 主な事業活動について

A. 協会活動を支える従来的な事業

別表-1の通り、昨年と同様に全国各地で様々な活動が行われました。これら活動の中には協会が共催・協賛・後援したテニス大会が含まれます。主なテニス大会としては、車いすテニスでは「第16回関東車いすテニス有明大会」(関東車いすテニス協会)、障害者テニスでは「第14回コスモスカップ」、「第11回みどりの日テニス大会」、「第9回善福寺ニューミックス大会」(関東障害者テニス協会)などの従来大会に加えて、ジュニア大会「京都サマージュニアテニストーナメント」を行ないました。また、その他支部、具体的には、群馬ではテニス指導者の講習会、福井ではジュニア教室の開催、広島では親と子のテニス教室など各地域に密着したテニ

ス大会やテニス指導教室などが行われています。こうしたボランティア活動を通じて、障害者、子供、シニア、一般などの広い範囲でのテニス愛好家を対象に「テニス」の普及を図り、「国民の健やかな生活と心身の発達」に寄与する社会への貢献を今年も協会は行っていきます。

B. 五年目を迎えた事業： テニスラケットのリサイクル運動

テニスラケットのリサイクル事業は4年間の実績を受けて、さらなる関係者の努力により順調な成果を上げています。また、(株)ゴーセン様からのストリングの提供は、このプログラムに参加したストリンガー会員の活躍と共に非常に大きな支援です。モンゴルへの送付が出来たこと、ラケットの「総数」「送付校」ともに過去最高となり、プログラムへの確かな手応えを今年も確認できました。受け入れ校となった先生方の「口コミ」による申し込みも多くなり、より一層草の根運動であることを踏まえて、今後も継続的努力を積み重ねていきます。

1. 総数と内訳

学校関係(15校)	423本
身体障害者(車いす及び肢体不自由者)関係	10本
モンゴル	35本
計	468本

2. 反響について(原稿の一部を要約)

学校から、下記の感謝状が協会宛に寄せられました。この運動の大切さと一層の充実を図っていきます。

○先日は貴重なラケットを送っていただきありがとうございました。ここ与論島の唯一の高校には、テニス部は硬式しかありません。私自身は硬式テニス愛好者のひとりです。生徒の選択の幅を広げるために週1~2回程度は硬式での練習を取り入れる予定です。部員以外の多くの中学生に、送っていただいたラケットを見せたところ、硬式テニスに対して興味を持ち始めました。近くには、町営の室内オムニコート4面、屋外オムニコート3面と恵まれており中学生は無料で使用できる環境にあります。すこしづつですが、家族でテニスをやってみようかという雰囲気も盛り上がって来ているようです。これも皆様の活動のおかげです。ありがとうございました。

鹿児島県大島郡天城町立北中学校ソフトテニス部
顧問 加藤 健二、森元 美行

○先日は貴協会よりラケットをお送りくださり大変有難く感謝致しております。当船越中ではソフトテニスクラブしかなく、全学年選択授業で硬式テニスを学ばせています。ソフトテニスにはない面白さがあり、生徒の中には高校に行ったら硬式テニスをしたいという生徒が増えてきています。しかしながら備品としての硬式用のラケットが少なく不自由させておりました。そこへ貴協会からのご好意で素晴らしいラケットをお送り下さり、皆で喜びました。大切に使用させていただきますと思っています。

広島市立船越中学校
校長 下居 修

2) 第6年度(2004年)の事業計画について

今年度の事業計画は別表-2に示す通りですが、認定NPO法人として、従来以上に事業活動と広報活動の強化、そして地域社会との関わり合いなどを工夫していきます。そのために、下記点については会員皆様のご理解とご支援を改めてお願いするものです。

(1) 会員の拡大、ホームページ活用と広報

第5年度の会員数は残念ながら新規入会者があったものの、賛助会員の退会者もあり、結果的には変動なしでした。会員の拡大は協会活動の基本となるものであり、ボランティアという市民運動の土台であり、一般会員の皆様と共に支部責任者を軸にして、会員募集をさらに図りたいと思います。そのために、協会活動を分かりやすく紹介すると共に、魅力のある事業の企画とその実施を試みます。ホームページの積極活用は勿論、本部としての外部発信(一般メディア - 新聞・テレビ等)へ向けた効果ある広報の展開も試みたいと思います。各会員の方々には、知人・友人への会員募集への努力をこの機会にお願いしたいと思います。資料についてはホームページをご参照頂くか、或は事務局にお問い合わせ下さい。

(2) 各支部事業と新たな事業の企画について

協会の事業活動は、各支部での地域に密着した従来的な活動をさらに充実することですが、この活動を支えるのは健全な財政基盤(資金確保)です。協会としては新しい事業としてテニスの「レイティング事業」を行うことを検討中です。詳細については具体化の目処がついた時点でホームページ等を通じてご案内する予定ですが、テニスを一層楽しくする活動を支援しつつ、同時に協会の基盤作りに役立てたいと考えています。(注：当協会は「利益」目的とする所謂、収益事業は行いませんが、協会活動に必要な資金確保を目的とする事業には制約ありません)

レイティングとは

テニスレイティングは、ゴルフの公認ハンディキャップと同様に、テニスプレーヤーのプレー能力を認定する制度で国際的にも通用するものです。従来、日本ではテニスの技術について一定の基準や尺度がなく、指導者の主観やプレーヤーのキャリアでクラス分けされており、Aのスクールでは中級だった人がBのスクールでは初級になるなど、様々な問題点がありました。レイトは一定の教育を受け、日本テニス協会に認定されたレイト査定員の査定を受けることにより取得できます。レイティング・チャートをチェックすることにより自分自身で進歩の度合いを判断することができます。(インターネットテニスジャパンサイトより)

(3) 認定NPO法人としての組織運営の強化

今回、国税庁からの正式な認定延長(期間は2004年～2005年の二年間)を受けて、協会では従来の組織運営、特に会計については専門家(土屋公認会計士事務所)からの指導を受けながら、本部と支部とが一体となり管理を強化しています。具体的には、一般の事業法人と同じ青色申告要件を満たす経理処理の手順の徹底を図っております。また、ホームページ等の広報活動を通じて、一層の情報公開をすることで、協会への一般的な理解を促進したいと考えています。

(4) 第6年度(2004年)の事業予算書

資料別表-5に示す通りですが、新しい年度の予算では、従来のものに比べて協会の事業活動を支える資金は、一般の皆様からのより多い寄付金を基盤にすることにありま
以上

3) 添付資料

- | | |
|-------------------------|------|
| (1) 第5年度(2003年) 事業活動表 | 別表-1 |
| (2) 第6年度(2004年) 事業計画表 | 別表-2 |
| (3) 決算報告及び予算 | |
| 第5年度(2003年1月～12月) 決算報告書 | 別表-3 |
| 第5年度(2003年1月～12月) 貸借対照表 | 別表-4 |
| 第6年度(2004年1月～12月) 予算計画書 | 別表-5 |
| (4) 会員名 | |
| (5) その他 | |